



保健のページ



ここ最近、麻疹の感染事例が報告されています。

あまり感染例を聞くことも少なくなっていた感染症ですが、今一度確認していきましょう。

麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染・飛沫感染・接触感染で、人から人へと感染し、非常に感染力が強いと言われています。免疫を持っていない人であれば、ほぼ 100%発症するとされています。

- 麻疹の予防方法で有効なのは、ワクチン接種です。空気感染を起こすため、手洗い・マスクだけは予防しきれません。

麻疹の患者さんに接触した場合には、72 時間以内に麻疹ワクチンを接種することで、発症を予防できる可能性があります。

現在は、2 回接種がスタンダードになっており、1 歳児と年長児の時期に接種をし免疫獲得を目指します。

今一度、母子手帳を確認し、ワクチン接種が完了しているか確認してみましょう。

保護者の方も年代によって、ワクチンが定期接種でなかったり、1 回しか接種をしていない方もいらっしゃると思いますので、ご心配でしたら接種歴の確認を試してみてもよいですね。

- 麻疹の症状は、潜伏期間の 10 日を経て、発熱や咳、鼻水といったような風邪症状が現れます。

2～3 日熱が続いたあと、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎や中耳炎の合併もしやすく、1,000 人に

1 人の割合で脳炎を発症すると言われており、死亡割合も、先進国であっても 1,000 人に 1 人と言われています。

- 麻疹かもしれない…と思ったら

麻疹の疑いがあることを医療機関に電話で伝えましょう。麻疹は非常に感染力が強いので、周囲への感染を防ぐため、マスクを着用し、公共交通機関の利用はなるべく避けましょう。

【検尿検査はなぜ行うの？】

先日実施した検尿検査の結果についてですが、指摘事項のあった方には個別でお声かけ、再検査用の用紙をお渡ししています。

未受診だった方もかかりつけにて検査を実施するようお願いします。

尿検査では、腎臓で作られる尿の中に、本来なら含まれないものが混じっていないかをチェックするための検査です。

園では 3 つの項目を検査しています。

- たんぱく・腎臓の疾患、膀胱・尿道の炎症がないかを調べています。
- 糖・高血糖ではないかを調べています。
- 潜血・腎臓や尿道から出血・炎症がないかを調べています。

園では年に 2 回検査を実施しています。継続的に検査を行い、子どもたちの健康状態を見守っていきます。

検査結果などでご不明な点がありましたら、お気軽に職員までお尋ねください。

看護師より

